

プログラミング実験第三

TINYJAVASCRIPT コンパイラの作り直し

1311216

Rathore Amogh

岩崎研究室

Contents

1	はじめに	1
1.1	背景	1
1.2	実験の目的	1
1.3	実装の方針	1
2	コンパイラの設計	1
2.1	設計の方針	1
3	コンパイラの実装	1
4	評価	1
5	終わりに	1
	References	2

1 はじめに

1.1 背景

TinyJavaScript は JavaScript の一部機能を制限したサブセットのことである [1]。TinyJavaScript の元のコンパイラは Mozilla の SpiderMonkey Parser API [2] を使用していた。しかし、SpiderMonkey Parser は絶えてしまって、TinyJavaScript のコンパイラの開発も続けられなくなった。だから、TinyJavaScript コンパイラを新しいパーサを使用して作りなおす必要が出てきた。このレポートは TinyJavaScript コンパイラを Node JS で作る実験について述べる。

1.2 実験の目的

1.3 実装の方針

2 コンパイラの設計

2.1 設計の方針

3 コンパイラの実装

4 評価

5 終わりに

References

- [1] 高田 祥. *ARM* 上で動作する *JavaScript* 処理系の実装. 電気通信大学 電気通信学部情報工学科 ソフトウェア学講座. January, 2011.
- [2] SpiderMonkey 1.6
<http://www-archive.mozilla.org/js/spidermonkey/release-notes/>